



コロナ対策のためZOOMでのオンラインで研修会を実施します!

《発達障害とマルトリートメント

—教育虐待を含む—》

講師 宮本 信也 先生

筑波大学名誉教授

白百合女子大学教授, 副学長

2021年2月7日(日) 13時30分~16時30分

- ◆申込み 日本臨床発達心理士会茨城支部ホームページより事前申し込みが必要です
- ◆申込み期間 2021年1月5日(火)~1月20日(水)
- ◆募集人数 95名 先着順

詳細をホームページにてご確認の上、ホームページよりお申込みください。

ホームページ <http://ibarakisibu.jp>

本公開講座は、日本臨床発達心理士会資格更新研修会(1ポイント)を兼ねております。

- ◆受講料 1,000円 *受講確認メール受信後に指定口座へ振り込み、手数料自己負担
- ◆Zoomへの事前登録 接続にはZoomへの事前登録が必要です。受講料振込確認後に事前登録依頼メールを送付します。
- ◆後援 茨城県, 茨城県教育委員会(申請中)
- ◆企画趣旨

発達行動小児科学, 子ども虐待への対応が専門である宮本信也先生に, 「発達障害とマルトリートメント—教育虐待を含む—」というテーマで講演をいただきます。

自閉スペクトラム症(ASD), 注意欠如/多動症(AD/HD), 限局性学習症(SLD)などの発達障害のある子どもたちは, マルトリートメントを受ける危険性が高いと言われます。その要因として, 障害特性により, 子育てに多くの負担がかかる, 周囲の理解や援助が受けにくいといったことがあります。また家庭や教育現場での, 成績不良に対する過度の叱責, 叱りながら行う教育, 年齢や能力, 学習スタイルに合わない教育内容の強制等もマルトリートメントです。

あらためて発達障害にどのような特性があるのか, そしてその特性とマルトリートメントのリスクがどのように関係をしているのか, またリスクを減らしていくためには, どのような援助が必要であるのかについて, コロナ禍での影響等も含め, 幅広くお話をいただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。